

## 多摩の農地 今と昔 ～リヤカーの思い出～

農業委員 須藤 忠志

若い方は「リヤカーって何？」と思われると思いますが、少々の荷物を運ぶのには便利なものでした。

私の小・中学生時代のリヤカーにまつわる思い出を書いてみます。

### ① 楽しい思い出

「どんど焼き」は皆さまご存じの行事ですが、1月15日頃、子どもたちがリヤカーを引いて各家々を廻り、古いお札やしめ縄を集めてどんど焼きをします。

この報酬として各家々のおじさん、おばさんからお金をいただいて、お菓子を貰ったりしたので大変うれしかったし、普段何かを燃やすことは子どもには厳禁とされていたので「どんど焼き」はとても楽しい思い出です。



### ② 恥ずかしい思い出

五つ下の妹の七五三の時だったと思います。

当時(昭和30年代)は、七五三の祝いの時に赤飯を母の実家に届ける風習があり、この赤飯の量が大きなたらい一杯くらいあるのでリヤカーに乗せて運びます。

当時は自転車がないので、耕運機にリヤカーをつないで運びましたが、なんとこのリヤカーに母と妹は当然として、私も乗せられたのです！

よそいきの服を着せられ、時速十キロそこそこの速度で走るの近所の人目にさらされ、恥ずかしいことこの上なかったことを、喜寿を迎える今日まで覚えています。



### ③ 役に立った思い出

小学生だったか中学生だったか思い出せませんが、クラスの友達 K 君の家が火事になってしまい「クラスメイトとして何かできないだろうか」ということで、リヤカーで知り合いの家々を廻り、不要になった鉄や鋼の品物を集めて、当時「クズ屋」と言っていた回収業者さんに売って、そのお金を K 君にお見舞いとして渡しました。

金額もどのくらいだったか詳細は全く思い出せませんが、ほんのチョット K 君の一家の役に立ったのではないかと思うのですが・・・。

# 女性農業委員等研修会

★令和7年11月16日★

農業委員 武内 好恵

女性農業委員等研修会(主催:東京都農業会議)に、多摩市農業委員会の女性農業委員4名で参加しました。

都内の女性農業委員は改選のたびに増えており、仲間が増えるのは嬉しいことです。

狛江市農業委員会の方々のお話を伺った後、現地研修へ向かいました。



多摩市の女性農業委員  
(左から 武内、澤登、熊野、青木)



鈴木 茜さん。わくわく都民農園  
小金井の講師もされています。

現地研修では、1年前から調布市で就農している鈴木茜さんの畑を見学。

鈴木さんは東京農業アカデミー八王子研修農場で研修を受けた後、武蔵野市や調布市の畑を借りて就農しています(畑の面積約 44a)。収穫した野菜は、直売や、お店に出しています。

「貸借期間が過ぎた後のことは不安ではあっても、任されている以上はしっかりと耕作していかなければ」と言います。生産緑地の貸借は可能になりましたが、鈴木さんは以前、所有者さんに相続が発生したことにより、生産緑地を返還したことがあるそうで、課題もあります。

畑の横には大型マンション。作業時間のタイミングなど都市農地あるあるの悩みはどこも同じですね。

近隣住民と仲良くやっていく最善の道は直売で交流することと言われていますが、鈴木さんはそのほかに SNS を駆使して、インスタグラムや公式アカウントなどで発信。フォロワーは700人を超えるとのこと！

小柄な体格から名付けた「こびと農園」で検索！してみてください。



# 農業ウォッチングラリー

★令和7年10月26日★

農業委員 熊野 美幸

令和7年10月26日に関戸、馬引沢地区で、「農業ウォッチングラリー」を開催しました！

当日は雨冷えの中にもかかわらず、15組22名の方々が雨具装備で参加されました！

市役所を出発し、旧鎌倉街道を進み熊野神社の南木戸柵跡を見学後、関戸の須藤氏の圃場でみかんの収穫体験をしました。

続いては乞田川を渡り、馬引沢で椎茸を栽培している増田氏の圃場で、椎茸のハウスなど見学し、最後に馬引沢でレモンを栽培している小形氏の圃場で収穫体験後、JA 東京みなみ多摩支店にて意見交換会を行いました。

農業ウォッチングラリーを通じて、みなさんが多摩市の農業を知り、応援していただければ幸いです。



## ウォッチングラリーコース

スタート:市役所>>①みかん(須藤氏圃場)>>  
②椎茸(増田氏圃場)>>③レモン(小形氏圃場)  
>>ゴール:JA 東京みなみ多摩支店(意見交換会会場)